

天井クレーン定期自主検査者安全教育受講報告

工作部門 土木建築実験機器管理班 松山利和

1. はじめに（目的等）

私が所属する班ではコンクリートや鉄骨、木材などの材料を用いた実験のサポートを行っており、それらの重量物を運搬するためには天井クレーンが必要不可欠であり、安全に作業するためには作業前点検や月次点検、年次点検といった日ごろの自主点検がとても重要になってくる。

天井クレーンは1年以内ごとに1回行う定期自主検査（年次検査）があるが、その点検のみならず普段の点検に必要な知識習得のため本研修を受講した。

2. 期間・場所

期間：令和3年7月28日

場所：三菱重工株式会社 広島製作所 観音工場

3. 参加者等

受講者 約50名

4. 研修内容

- ・定期自主検査の意義，関係法令，災害事例等
- ・構造，ランウェイ，機械装置の知識
- ・電気設備の検査に関する知識
- ・安全装置の検査に関する知識
- ・荷重試験の方法，潤滑装置に関する知識

5. まとめと感想

本研修では実際の検査状況を写真等で紹介・解説してもらったが、天井クレーンは屋内のみならず様々な環境下で使用されているため、点検してみてもそれぞれ違う箇所損傷や劣化状況が全く異なることが改めてわかった。

私が配属されている大型構造物実験棟では屋内使用のため劣悪な環境ではなく、無理な使用等は行っていないが、天井クレーンの運転方法や定期自主検査で細部まで確認することの重要性を学ぶことができた。

今後は定期自主検査を行うことができるが、他の技術職員とともに安全第一で点検を行い、日頃の業務でも事故やケガの無いような環境づくりをしていきたいと考える。